

# やつおもて

第6号 (2015年1月)  
 編集発行：和田公民館  
 協力：公民館運営推進委員  
 電話：(45-1918)  
 eメール:wada-k@ph-hamada.jp



明けましておめでとうございます。新しい年の初めをいかがお過ごしでしょうか？  
 皆さんに福がたくさんきますように、つぬも心から願っています。

今年も皆さんの笑顔にたくさん出会えます様に！どうぞよろしくお祈りします！

## 和田地区の歴史コーナー

今回は前回の小才遺跡の続きと福原横穴群について紹介します。

つぬちゃんです！

### 《小才遺跡》

#### ◆まとめ◆

小才遺跡の古墳群はいずれも7世紀ごろにつくられたものと考えられ、やつおもて古墳群より後の時代の有力者のお墓と考えられます。この時期は前方後円墳などの大きな古墳が次第につくられなくなる頃で、のちの律令制時代に移っていく過渡期に当たります。645年には大化の改新が行われ、670年には戸籍が作られるなど、日本の国家機構が整えられていく時期であり、その頃の地方の歴史を知るうえで大変参考になります。

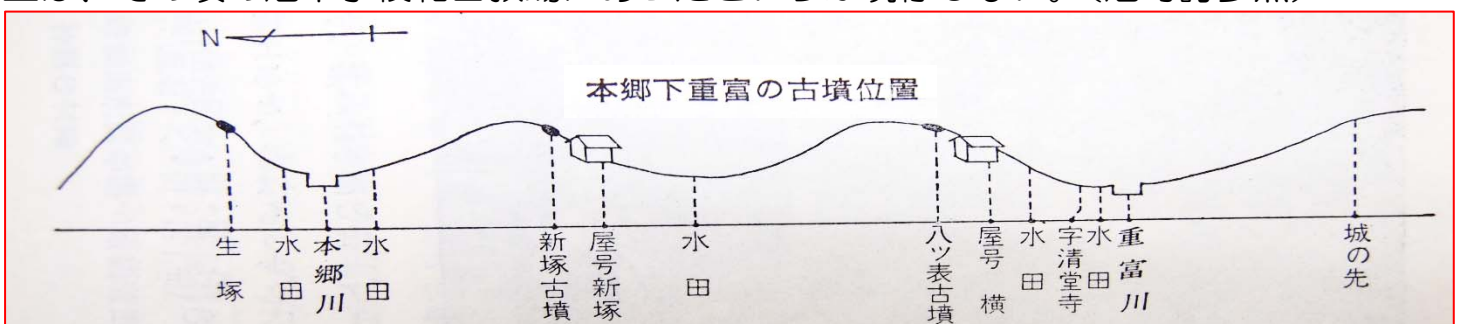


島根県教育庁文化課資料 (1990年6月3日付)

### 《福原横穴群》

上重富、大字重富95番地にある。付近一帯は、花崗岩の風化によって生じたマサ土であり、古墳はこのマサ土の山の斜面に南面して設けられている。大正9年母屋改築の際、1号墳と2号墳が発見され、1号墳には、人骨6体が頭をならべて葬られていたという。3号墳は昭和22年に裏山を掘って発見され、4及び5号墳は、終戦後のある年、和田小学校の教師が生徒と共に発掘したという。

発掘のたびに土器が発見されており、4～5号墳から発見された14～5枚の小皿は、その頃の旭中学校和田教場にあったというが現存しない。(旭町誌参照)



## あいさつ川柳 和田公民館長賞

### 「朝のあいさつ 元気におはよう 家族から」



浜田を明るく照らし隊主催「平成26年度 あいさつ川柳」を募集致しましたところ、たくさんの応募をいただきました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。応募作品の中から 「和田公民館長賞」1点が選ばれました。受賞者は本郷の馬場 昇さんです。おめでとうございます！馬場さんには田中公民館長と浜田を明るく照らし隊の村武隊長から表彰状と粗品が贈られました。

みんなで気持ちの良いあいさつを交わしたいですね！

### 小学生人権標語コンテスト入選作品

## その言葉 言われる相手は どう思う？

続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです

### 道平山の観音様 —「防六をあおぎて」より—



江戸時代、この観音様は今と違った場所にあったのです。

その観音様といわれる岩の前に池があって、今市の方から続く堂切り峠を息をこらして登ってきた旅人は、この池の水にのどの渴きを潤しました。そして偶然、目の病を持っていたその旅人は顔を洗い、目も洗った……それが以外に目に良かったのか、目が「すっきり」と良くなった。顔を上げると目の前に変わった三角錐（さんかくすい）の石がある……この石を目にご利益のある観音様にしようという事になった。



そんな池の水は、1770年の大干ばつの時も枯れることなくあったのかしら？願わくば以前と同じ所に観音

様があって欲しかったわ！ありがたき水が湛えられていたらつぬも通って見たかった！今、池を失って観音様も悲しんでいることでしょう。ご利益も半分になったかも…（今は峠の右側の山際にあります）時は変わっても、変わって欲しくない故郷の伝説の池です。（文・絵 佐々岡健次）

注○明和の大干ばつ 1770年6月～9月(明和7年6月～8月)この年の夏は全国的に雨が降らず、九州から東北地方まで大干ばつとなり農作物の凶作と水不足が深刻化した。

八戸川にはたくさんの淵や瀬があり、それぞれ名前が付けられている。今回からその淵や瀬について話してみよう。

戸川と都川の境にある岩畳橋より八戸ダムまでにある淵と瀬は82ヶ所あります。(上流から順に1～82の番号をつけています)

通常のダム湖の水位では52番目の「鼓ヶ胴淵(つづみがどうぶち)」から81番目の「水神淵」までの30ヶ所は沈んでいる為姿を見ることは出来ません。また、ダムの満水時には32番目の「おいこ岩淵」から51番目の「長淵」までの20ヶ所が沈んでしまいます。

その他、河川整備や道路改良工事及び災害防止事業によりなくなった淵は①「けやし淵」③「出合淵」⑩「まいのき淵」⑫「じゃ淵」⑬「岩つか淵」⑭「上鱒淵(うえますぶち)」⑯「瀬淵」の7ヶ所もあります。

このような状況ですので、残りの淵は魚の棲み処として大切に保存し、魚の育ちやすい河川としていつまでも守り続けなければなりません。



ウグイ 「鵜(う)を食う魚」「浮く魚」などが名前の由来です



ナマス 地震の予兆としてナマスが暴れるという俗説が広く知られてる。

多くの淵の中から今回は「いわし淵」の名前についての言い伝えを記しておこう。

—続 八戸川の流れ— より

「いわし淵は本流の栃谷橋の上(かみ)にあり、現在の県道田所国府線の改良がなされる以前のこと、昔は川沿いに幅員の狭い小道を

伝って往来していた。年代は定かではないが、淵の処の岩から岩への渡しは丸木で橋がかかっていた。何時ものように、魚売りが通りかかり、丸木橋なので足をすべらし川に転落したそうだ。担いでいた魚籠から鰯が全部川に落ちた。通りかかっていた者が見ると、川一面に鰯が泳いでいるようであったという。また、その魚売りは水死したそうだ。この事故があって以降は、この淵をいわし淵と呼ぶようになったとのこと」(文 榎本泰弘)



## 館長の今月の故事・ことわざ

いし ふとん き

石に布団は着せられず

親が死んでしまっただけから、したくても孝行はできない、もう遅いとい

うこと。石は墓石のことで、墓石に布団を着せて親孝行するわけにはいかない。



## ～「和田公民館が移転しました」～

和田公民館は10月1日旧和田小学校に移転しました。10月26日には田村旭支所長や浜田市公民館連絡協議会会長の井上義樹さんをお迎えして移転セレモニーを行いました。皆さんにどんどん利用していただき、地域に根ざす公民館として育てていただきますよう、お願い申し上げます。

## つぬちゃんのみんなでチャレンジコーナー

# 神楽面づくり②

前岡 勉さんを講師に神楽面づくりにチャレンジ!! その様子を簡単にご紹介します。

木の棒を削って  
牙を作る

肌色を塗る

口や髪の色を  
きれいに塗る

前岡さんに金箔を  
張って貰う



毛挿し 適量を取る  
のが難しい



お面を焼き板に取り付け  
て完成です やった  
おめでとう!



## あ と が き

近年、あちこちで異常気象が起きていますが、今年の冬はどんなでしょうか？年々除雪車の有難さを痛感する私です。12月初めにいきなり降った大雪の為に旭自治区内でも避難所が開設され、非難された方がおられたという事です。災害といえば地震や水害を思い浮かべてしまいがちですが、あの雪で、「雪害」という言葉を身近に感じました。「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。暖冬傾向でつい油断してしまいそうな雪の被害。我が家の「雪害対策」はどうなっているかな？と思い直しました。(美)